養成大学向け養成プログラム～心理・福祉分野に強みを持つ養護教諭の養成・育成プログラム～

文部科学省

●心理・福祉分野の資質能力一覧

- 多様化・複雑化する心身の健康課題に対応するために養護教諭の専門性を基盤として、**心理・福祉分野に関して養成段階・現職を問わず身に付けることが望ましい資質能力**を一覧としてまとめた。
- 既存の養成大学のカリキュラム等に基づき、養護教諭養成・臨床心理学・社会福祉学の専門職等による検討及び有識者委員会での議論を経て作成。
- 心理職や福祉職の高度な専門性をそのまま養護教諭に求めるのではなく、学校現場の実態に即した職務遂行可能性を重視し、養護教諭本来の業務を基盤としつつ、**「気付き」「見立て」「関わり」「つなぎ」のスキルを中心**に、心理・福祉分野に関してに身に付けることが望ましい要素を、**①心理・福祉共通分野、②心理分野、③福祉分野の3分野で整理**。
- 3分野の各事項を、全体目標、一般目標、到達目標として整理。

全体目標：心理・福祉分野に関し、当該事項を履修することによって対象者が修得する資質能力
一般目標：全体目標を内容のまとまり毎に分化させた目標
到達目標：対象者が一般目標に到達するために達成すべき個々の規準

心理・福祉分野の資質能力一覧の構成

心理・福祉共有分野 ： 児童生徒等の精神保健に関する理解と支援、健康相談及び心理社会的アセスメントと連携
心理分野 ： 心理社会的・認知的発達及び心身相関に基づく見立てと配慮、健康相談及び保健指導における心理的支援の基礎と関係調整
福祉分野 ： 権利擁護及び福祉的視点に基づくアセスメントと支援、福祉制度や社会資源の活用及び多職種連携のための設計

●養成大学向け養成プログラム

- 資質能力一覧から養成課程で学修する内容を抜粋し、**心理福祉共通・心理・福祉の3科目相当の養成プログラム**を開発。
- 各大学のカリキュラム編成やリソースの状況に応じて、**心理・福祉分野の教育内容を充実させるための検討資料**となるよう、**授業単位での組み入れが可能な独立した10回の授業例**を作成。各大学の単位数や年間授業回数の実情に応じて、内容を柔軟に調整して活用することが可能。

科目1 **養護教諭のための心理支援・福祉連携基礎（心理福祉共通科目）**
心理系学部・福祉系学部を有していない養護教諭養成課程を有する大学において、心理・福祉分野に強みを持つ養護教諭を養成するための科目

科目2 **養護教諭のための心理支援論（心理科目）**
養護教諭養成課程を有する福祉系学部の大学において、心理分野に強みを持つ養護教諭を養成するための科目

科目3 **養護教諭のための学校福祉論（福祉科目）**
養護教諭養成課程を有する心理系学部の大学において、福祉分野に強みを持つ養護教諭を養成するための科目



活用の例

科目の新設・再編 ： 本プログラム全体又は一部を用いて、新たな科目を設置、あるいは既存科目の内容を刷新する際のシラバス案として活用。
既存科目への組み入れ ： 既存の授業内に、本プログラムのトピック（例：「心理的アセスメントの演習」等）を数コマ分組み入れ、内容を充実。
カリキュラムの点検・評価 ： 養護教諭に求められる心理・福祉に関する素養について、自大学のカリキュラムとの対応関係を確認するために活用。

掲載URL（文部科学省HP）：https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1384931.htm